

厚狭高定時制通信

第3号・令和4年3月3日
山口県立厚狭高等学校定時制

スローガン：誰かのために 何かのために～ふるさとを愛し、より良い社会づくりに貢献する～

令和3年度もまとめの時期を迎えています。今年度も新型コロナウイルス感染症が広がり、様々な制限の中での学校生活となりましたが、生徒たちはアイデアを出し合い、工夫して各取組に全力を尽くし、その成果が現れました。

3月1日に令和3年度卒業証書授与式举行

4人の生徒がそれぞれの道へ南校舎を旅立つ



定時制では66回目となる卒業証書授与式では、4年生4人が商業科の課程を修了し、それぞれの希望する進路へ旅立っていきました。北校舎で行われた授与式では、大下康一郎校長が代表の梅林樹喜さんに卒業証書を授与するとともに、式辞の中で「誰かのために 何かのために」を考えて送った学校生活を生かし、多様な人と協力しながらそれぞれの道で社会に貢献し、周囲を明るく照らす人間になってほしいと述べました。

南校舎へ移動した後、ホームルームが行われ、担任が本校での学習や諸活動の成果を今後の人生で発揮し活躍してほしいと伝え、卒業生一人ひとりが家族や教職員へ旅立ちのメッセージを述べました。在校生は花束を贈り、先輩の門出に感謝の心を添えました。

4人の卒業は、地域の皆様の温かい御支援や御協力の賜物であると感謝しています。心から御礼申し上げます。



体験を重視した学校行事～新しい生活様式の中で～

修学旅行

コロナ禍により秋吉台、長門など県内を目的地として1泊2日で実施しました。新入学生の募集停止により、本校での修学旅行は今回が最後となります。1日目はサファリランドで餌付け体験や金子みすゞの足跡をたどり山口県の名所めぐりで交友を深めました。シングルステイの宿泊では初めての体験で戸惑う生徒も。2日目は県警本部で指令室等を見学した後、山口朝日放送局を訪問し、ニュース原稿の朗読にチャレンジしました。普段の学校生活では体験できない貴重な経験の場となりました。



情報モラル教室



本校情報教育担当教員とICT支援員が合同で講師を担当し、著作権や肖像権をテーマに、インターネットを利用する際のルールやマナーについて学びました。学習用端末やスマホの利用など生徒に身近な内容であり、自分事として捉えて知識を深めました。



卒業生進路体験発表会

4年生が就職や進学を決定するまでの体験を発表しました。パネルディスカッション形式で行われ、後輩の様々な質問にアドバイスを添えて答え、そのノウハウをしっかりと伝えました。

卒業生を送る会

1月から新しい生徒会が誕生し、最初の行事が卒業生を送る会でした。新会長が在校生を代表してあいさつをし、記念品を手渡しました。クイズやビデオメッセージ等趣向をこらした内容で、先輩との別れを惜しみました。



厚狭地区社会福祉協議会様から、働きながら学んでいる厚狭地域在住の本校生徒に対し、勤労青少年奨励金が授与されました。温かな御支援ありがとうございました。

